

豪雨後の活動報告

総社で
AMDA

国際医療ボランティア

AMDA（本部・岡

山市北区伊福町）は24

日、災害時の医療活動

の在り方を探る調整会

議を県立大（総社市窪

木）で開き、西日本豪

雨の被災地支援に取り

組んだスタッフらが活

動報告を行った。

AMDAプロジェクト

オフィサーの橋本千

明さんは、豪雨発生後

に現地入りし、吉備医

師会やまび記念病院

（倉敷市真備町川辺）

と連携し、7月18日に

健診車を再開させた取

り組みを紹介。「保健

医療の一日も早い再開

が住民にとって重要」

と指摘した上で、「素

早い活動を展開するに

は、自治体など関係機

関との連携が大切」と

述べた。

菅波茂代表は今後の

展開として、診療や調

剤といった機能を持つ

車両10台程度を1チー

ムとして被災地に派遣

する「AMDA災害医

療機動チーム構想」を

示した。

調整会議は2015

年から南海トラフ巨大

地震を想定して開き、

今回で5回目。AMD

Aと災害時の連携協定

を結ぶ岡山や徳島、高

知県の自治体をはじめ

め、国内外の医療関係

者など約250人が出

席した。

（小川耕平）